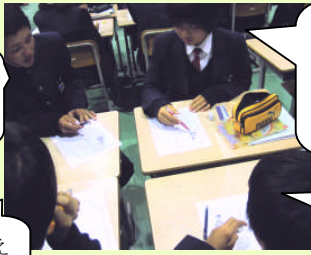


# 「学び合いのある授業」の実践例

その1

## 「学び合い」への価値あるつまずきを生む課題設定

一応、x  
でたよ。



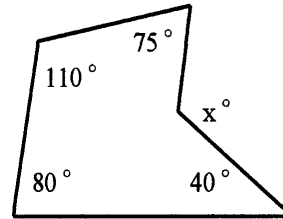
でも、問題は補助  
線の引き方のアド  
バイスじゃろ？

x, なんぼに  
なった？

どう答えりゃえ  
えんじゃろ？

H21年11月11日 (数学)

問題



A子さんは右の図形の問題を前に  
して『補助線ってどこにどう引け  
ばいいのか、いつもわからなくて  
苦手だなあ。』とつぶやいていま  
す。A子さんにどんなアドバイス  
をしてあげればいいでしょうか。

授業におけるつまずきとは…

- ・つまずかせてはいけないもの → つまずかせないための支援計画
- ・学びのためにつまずかせるもの → 「価値あるつまずき」→「学び合う」必然性が生じる

**「えっ？何で？」「あっそうか！」「おもしろえ！」を引き出す授業**

その2

## 言葉を引き出し、対話をつなげ、思考を深める

S 「死んだん？これは？」 「成功したんでえ。」 「死んでねん？」

T 「どう思う？」

S 「どこにもいなかったって書いてる。」

「だって、消えたと思うってさあ…あっ消えたとは書いてねえじゃん。」

「飛んでいったんで。」 「薬飲んで成功したんじゃろ。」

「飲まされたん？おばあさんに？」 「自分で飲んだんで。」

「失敗して死ぬより、成功して死ぬほうが良かったんじゃねん。」 「どちらにせよ死ぬけえ。」

T 「ああ、どっちにしても死が待ってるんかあ。」

S 「えっ？でも…」 (会話は続く)



H21年12月4日 (国語)

「空中ブランコ乗りのキキ」を読んで生徒たちは自然  
に対話を始め、教材の世界に引き込まれていきます。

「学び合い」を深める教師の役割

自然に話し合いたくなるように教材の力を上手に引き出し、生徒の言葉をつなげていく授業

その3

## 「学び合う」ためのモノや場面の設定と工夫



H21年6月24日 (社会)

「細胞分裂の核の変化」を模型で考える



H22年5月17日 (理科)



H22年11月15日 (英語)

買い物の場面で「不定詞」を使う

「中国の特徴」を白地図と付箋で考える

モノや場面を媒介とする → 身体的に表現し合う → 対話がすすむ → 学びが深まる